

会員数 60名 出席者40名・欠席者19名・免除会員3名
欠 席 者 麻田・和泉享・松山・森・有家・後藤・天野・稲田・池田・高岡
飯間・陶國・山内・岸上・橘・竹内一・中野昌・野口・加内・会員

前々回出席率 74.14%(5/4)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 川原 一夫
幹 事 福田 洋子
会報委員長 岡田 将一郎

お知らせ

- ∴ 5月のプログラム
 - 4 (No.1)-お城まつり参加
 - 16 (No.2)-クラブフォーラム
 - 23 (No.3)-会員卓話
 - 30 (No.4)-会員卓話
- ∴ 他RC例会変更
 - 坂出東 5/8、5/15式典リハーサル
 - 丸亀東 5/21新入会員歓迎会
 - 善通寺 5/15→5/12日帰り旅行
- ∴ ニコニコBOX;
 - よいことがありました
 - 秋山憲夫君
 - なんとなく
 - 齋賀君
 - 久しぶりに出席して
 - 富田君
 - 新入会員谷川様をお迎えて
 - 福田君
- 〈ニコニコ会計累積/ ¥428,823〉
- ∴ がんばるBOX;
 - 早退します
 - 秋山恒嘉君 塩田君
 - 眞鍋会員の箴言を聞いて
 - 川原君
 - 卓話を終えて
 - 眞鍋君
- 〈がんばる会計累積/ ¥376,000〉

■会長挨拶

酒場という聖地へ 酒を求め、魚を求めさまよう吉田類の酒場放浪記です。毎週月曜日夜9.00から10.00までBS-TBSで放送されています。お通しは最初の注文が入ってから料理を提供するまでの酒の肴として小鉢で出される簡単な料理。関東では「お通し」、関西では「突き出し」と呼びます。吉田類さんは、高知県出身、土佐流の独特の飲酒習慣を持っています。平安時代前期の紀貫之が著わした「土佐日記」があります。土佐日記には、国司の任を終えて京へ帰るまでの55日間の旅が綴られています。帰京の旅要した日数の半分以上を土佐の地で要しています。手間取った最大の理由は、「餞」と称する送別の酒宴が連日のように催されたからです。高知県人は、酔うほどに胸襟を開く土地柄なれば、吉田類の名言「酒は人の上に人を造らず」いい言葉だと思いました。吉田類さんは、福島県を度々訪れ、福島県産の日本酒の魅力発信に大きく貢献しています。

■会長報告

1、琴参観光(株)谷川淳二様が入会されました。

■幹事報告

- 1、5月18日坂出東ロータリークラブ50周年及び木更津東ロータリークラブ姉妹クラブ締結30周年行事に会長幹事で出席しました。
- 2、ロータリー手帳注文してる方は届いています。

■例会事業;

会長方針に依る、表題について語れるような事はありませんが、ただ私としては典型的に2代目を継承する立場でした。「初代流の経営方針で会社運営を行うと企業は倒産する。信念で会社の寿命は30年、次世代は改革しないと存続は無い。」その様な思いで、この30年間会社運営を行ってきました。

まず初代の時代は時系列で話をさせて頂くと

1. 昭和28年会社設立 (6代目大工から建設業に)
2. 昭和44年不動産部の開設・・・宅地造成事業の開始
3. 昭和45年中津万象園を購入・・・復元工事開始
4. 昭和47年丸亀プラザホテルの開設 (会社設立20周年)
5. 昭和52年高知竹林寺五重塔建立・・・木造の建立は全国で36ヶ所
6. 昭和57年中津万象園・丸亀美術館オープン
7. 昭和64年茨城県法鷲院五重塔建立
8. 平成4年創業者社長死去 (会社設立40周年)



谷川淳二新入会員



ここで2代目社長として平成時代の時系列で話をさせて頂くと
先代の遺言より、中津万象園を財団法人の運営とせよ。

四国新聞より文化功労賞を受賞～財団申請を行う。
平成18年全国メセナアワード 庭園文化賞 を受賞
平成22年中津万象園を公益財団法人として運営変更
平成23年香川県より中津万象園の芸術選奨を受賞
平成24年に富士ホールディングを設立

この30年の間に不動産業を進化させテナント業を開設し、事業部門も増設、飲食業を始め、太陽光事業にも取り組み、会社運営形態を変化させました。一方、名勝中津万象園の更なる整備を行い、ほぼ完成の運びに至りました。

いずれにせよ当初申し上げたように会社の寿命は30年ですので、私の時代の考え方、運営は終わり、次の世代に移管する事が基本であるため、満70歳つまり平成30年で会社の重職は退きました。私の基本的な考え方は、各事業を通して現役時代の延長と幸福感・充足感の味わえる会社造りを目指しております。

また一方、事業運営を通じて関わるお客様始め協力業者関係者が、地域の癒しの場として名勝中津万象園の活用、そして社会責務の一環として保存活動はもちろん、高齢化社会を迎える中、地域の癒しの場として老後も楽しみ、その価値観を提供できる場として活用できるよう努力します。

今後、益々地域の担い手として会社の存続意義を問われる時代がやって来ます。このような時代に社員を始め役員の皆が誇りと自尊心を持って次なる30年に向かって行く事を期待しております。

最後になりますが、ロータリークラブには4つのテストがありますが、常にこの事を肝に銘じ、人に迷惑を掛けないように生きて行く事を私の生き様として申し上げます。

最後にこのような機会を頂きました事に感謝致します。